



9/27 更生保護交流会開催



9月27日、更生保護相談室“陽”（旧白水庁舎）にて、阿蘇南部保護司会と菊池保護司会との合同交流会が開催されました。地域における公正保護相談室は全国的にも珍しく、多くの視察がおこなわれています。

当日は、両会の活動状況を発表後に、その内容について質疑をおこない、今後の課題として取り上げるなど有意義な交流会となりました。

相談室では、毎週火曜日の午前10時から午後4時まで保護司が地域住民の相談を受けています。

10/15 今も続く復興支援の想い 義援金と共に中学生来訪



10月15日、北九州市立則松中学校「第4回きずなプロジェクト」(災害復興支援活動)の関係者22人が現地視察で南阿蘇村の震災遺構などを訪れ、旧長陽西部小学校にて義援金の贈呈がおこなわれました。この活動は、被災地の特産品(南阿蘇村は蕎麦とジャム)を則松中学校で購入し、バザーで販売をおこない、その収益金を義援金としたもの。

また、10月29日に開催された復興イベント「灯物語」への応援として、灯籠和紙の記入済メッセージ27枚を持参し、9基の灯籠を制作していただきました。

10/15 100歳の表彰とお祝い



桐原明さん(白川区)が100歳を迎えられ、村から表彰状とお祝いが贈呈されました。桐原さんは、大正11年10月15日生まれ。趣味は野菜作りで、収穫した野菜は知り合いや近所の人たちに配ることもあるとのこと。

元気の秘訣を聞くと「好きなことをして過ごすこと。夫婦や近所の人たちと互いに助け合いながら仲良く過ごすこと」と話していただき、今後の目標は、これからも長生きして村内最高齢を目指し、孫やひ孫の成長を見守っていきたいとのことでした。

10/22 南阿蘇村図書室秋のイベント開催



オータムアート展



演奏会

10月22日、LOOPみなみあそで秋のイベントを開催しました。

今回は、芸術の秋をテーマに少し大人向けのイベントとなりましたが、子どもからシニアまで幅広い世代の皆さんが参加され、演奏会やアート展・ワークショップや楽器体験会、ハロウィンのおはなし会など秋を感じられる楽しいひと時を過ごされていました。

10/23 第14回みなみあそボランティアまつり開催

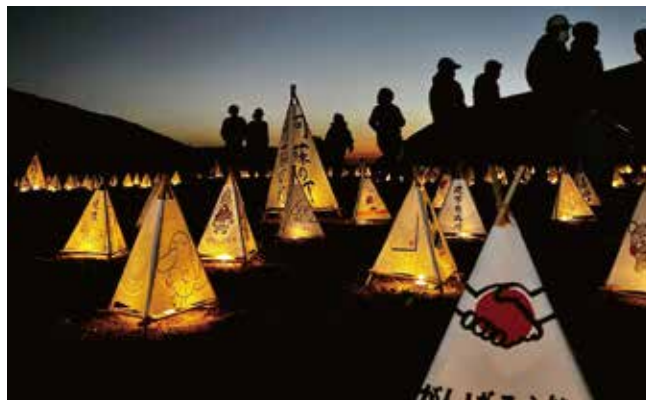


この事業は、共同募金配分金を受けて。

10月23日、村のボランティア活動の輪を広げることを目的として、第14回みなみあそボランティアまつりを開催し、160人の参加がありました。

南阿蘇中学校吹奏楽部による美しい演奏で始まり、ボランティア活動では、花や球根移植活動、災害を想定した炊き出し訓練、ボッチャ・モルック・高齢者疑似体験などをおこないました。またアトラクションでは、バルーンアートや迫力ある南阿蘇太鼓で会場に笑顔と元気を届けてくれました。

10/29 第6回「灯物語～綾～」開催



10月29日、旧長陽西部小学校グラウンドにて、東海大生有志団体「阿蘇の灯」による「灯物語」が開催されました。今年も村内の全小・中学生をはじめ、全国の皆さんから約1,200枚のメッセージが届き、約400の灯籠を制作。

午後5時半に点灯し、夕陽をバックに灯りが浮かび上がると黒川区長と代表が挨拶。代表の綿貫佑奈さんは「私は南阿蘇村と何の繋がりもなかったが、この活動を通じて仲間の支えや地域の皆さんの温かさにふれ、成長することができた。今後も熊本地震を風化させないよう、この活動が続いてほしい」と感謝を述べました。

11/3 もしもの時に備えた訓練



11月3日(木)、熊本県総合防災訓練が実施されました。この訓練は、有史以来例のない阿蘇山での噴火警戒レベル4相当の噴火を想定し、阿蘇市、高森町、自衛隊、消防、警察などの関係機関55団体、約730人が参加して実施したものです。南阿蘇村からは全役場職員と全消防団員が訓練に参加しました。

当日午前は、県や市町村の災害対策本部において図上訓練、午後は人命救助や山林火災対応の実動訓練を実施しました。また、あそ望の郷では関係機関による車両の展示などもおこなわれ、多くの人で賑わいました。

11/5 村で7年ぶりの学園祭



11月5日(土)に専門学校アイデアITカレッジ阿蘇で「長陽祭」が開かれました。南阿蘇村としては約7年ぶりとなる学園祭で、当日は多くの人で賑わいました。

長陽祭では、学生が主体となって一から準備し、スイーツ販売やプログラミング体験、国際学生によるお茶・お菓子の販売など、本校の特色を生かしたブースを出展しました。参加者からは「楽しかった」との声が聞け、地域の皆さんとより一層繋がることができる学園祭となりました。(グローバルITビジネス学科1年：湯野歩夢)